

2026年9月17日

報道関係各位

京都産業大学 広報部

鳥インフルエンザ研究から20年、感染症研究の成果を社会へ 京都産業大学 感染症分子研究センター20周年記念シンポジウム 「感染症から暮らしを守る」を開催

京都産業大学は、感染症分子研究センターの前身である「鳥インフルエンザ研究センター」の設立から20周年を迎えることを記念し、2026年9月26日(土)、むすびわざ館にて20周年記念シンポジウム「感染症から暮らしを守る ―研究の最前線から学ぶ予防と未来への備え―」を開催します。

本シンポジウムでは、鳥インフルエンザやマダニ感染症、新型コロナウイルス、植物由来の抗ウイルスタンパク質など、暮らしに関わる感染症研究の成果や最新の知見を、研究者が分かりやすく紹介します。ぜひご取材いただき、広くご紹介いただけますと幸いです。

【本件のポイント】

■京都産業大学感染症分子研究センターについて

2004年の国内における高病原性鳥インフルエンザ発生を契機に、本学は2006年に鳥インフルエンザ研究センターを設置しました。産官学連携や国際ネットワークを活用しながら、感染経路の解明、防疫技術の開発、感染症対策の推進に取り組んできました。

2018年には感染症分子研究センターへ発展的に改組し、研究対象を細菌、真菌、寄生虫、ウイルスへと広げるとともに、予防医学との融合研究を推進しています。

■シンポジウムについて

前身の鳥インフルエンザ研究センター設立から20周年を迎えることを記念し、これまでの研究成果を広く社会と共有するシンポジウムを開催します。基調講演に加え、センター所員らが、植物由来の抗ウイルスタンパク質、マダニ感染症、鳥インフルエンザ、新型コロナウイルスなど、私たちの暮らしにも関わる感染症研究の成果や最新の知見を紹介します。

京都産業大学 感染症分子研究センター20周年記念シンポジウム

- 日 時 2026年9月26日(土)13:00～15:00
- 会 場 京都産業大学むすびわざ館(壬生校地/京都市下京区中堂寺命婦町1-10)
- 対 象 一般の方
- 参 加 費 無料
- 申 込 不要
- Web サイト <https://www.kyoto-su.ac.jp/events/event-003388.html>

※取材いただける際には、お手数をおかけいたしますが、9月25日(金)14時までに広報部へご一報いただきますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

京都産業大学 広報部 (広報担当) 075-705-1411
 E-mail: kouhou-ka@star.kyoto-su.ac.jp

京都産業大学
感染症分子研究センター

— 20周年記念シンポジウム —

感染症から 暮らしを守る

研究の最前線から学ぶ
予防と未来への備え

日時 2026年9月26日(土)
13:00-15:00

会場 京都産業大学
むすびわざ館

(京都産業大学 壬生校地)
京都府京都市下京区中堂寺命婦町1-10

入場無料/申込不要

※定員を超過した場合は、ご入場
いただけない場合があります。



アクセス



調査地に飛来した野鳥



BSL3実験室



動物を待つマダニ

お問い合わせ

京都産業大学 研究機構

TEL : 075-705-3255 メール : ksu-kenkyusuishin@star.kyoto-su.ac.jp



プログラム

第1部 基調講演 (13:05~)

自然科学の発展が
感染症研究にもたらす影響

四ノ宮 成祥

(国立健康危機管理研究機構・
国立感染症研究所 安全管理研究センター)

第2部 シンポジウム (13:50~)

- 植物がつくる天然の抗ウイルスタンパク質
— その働きと未来への可能性 —

津下 英明 (生命科学部・教授)、羽深典之 (生命科学部・客員研究員)

- 忍び寄るマダニ感染症
— 私たちが知っておくべきリスクと予防 —

前田 秋彦 (生命科学部・教授)

- 鳥インフルエンザ研究20年の歩み

高桑 弘樹 (生命科学部・教授)

- 新型コロナへの罹りやすさと人々の行動・意識
— ながはま研究から —

広田 茂 (経済学部・教授)

第3部 総合討論 (14:50~)

あなたと家族を守るために
知っておきたい感染症との向き合い方

